２０14年5月19日

報道関係者各位

**材料を選ばない樹脂異材接合を可能にする**

**新二重成形技術「AKI-LockTM」のご提案について**

ポリプラスチックス株式会社

ポリプラスチックス株式会社 (社長:後藤 昇、本社:東京都港区) は、このたび、従来の二重成形技術では接合が困難であった樹脂接合や異なる種類の樹脂接合を可能にする技術として、異材接合技術「AKI-LockTM」、を開発しました。

1. **背景**

ポリプラスチックスグループでは、材料を販売するにあたって、長年当社ではお客様の要望に合わせて、求められる機能の材料開発はもとより、その次に何が求められているかを予め予測し、製品設計技術から製品寿命予測まで、様々なソリューション技術の支援、開発の協力を行なってまいりました。

今回ご紹介する「AKI-LockTM」も、既知の樹脂接合技術よりも優れた性能を示す技術として、材料特性と接合技術を組み合わせたトータルソリューションとして展開しています。

1. **概要**

材料を選ばない樹脂異材接合技術「AKI-LockTM」は、1次成形品の接合部表面をレーザー処理した後に2次成形を行う二重成形技術で、これまで接合が困難であった樹脂や異材との接合を可能にする工法です。

1次成形品にガラス繊維強化材料を用い、レーザー処理によりガラス繊維を露出させることにより、2次成形材料がガラス繊維とのアンカー効果により強固に接合され、また、高い気密性を発現します。

これらの性能により、組付け工数・部品点数削減によるトータルコストダウン、品質向上、異材結合による多機能成形品への応用が行えます。

1. **今後の展開**

ポリプラスチックスグループは、創業以来Solutionの提供を推進してまいりましたが、近年その技術開発は当社が実施しお客様に提供する形の支援技術から、お客様のイノベーションにより寄与できる、お客様自身が活用可能な技術の開発にも力を入れております。

今後とも、さらに高度なソリューション技術が提供できるよう開発を推進して行きます。

【当件に関するお問い合わせ】

■ポリプラスチックス株式会社　総務部　伊庭野

 東京都港区港南　2-18-1

 Tel: 03-6711-8600 Fax: 03-6711-8606